

# 会報誌 「しほこの樹」

## 第1号

### 【村松志保子】

安政3年(1856)生まれ、明治9~14年(1876~1881)、済生学舎に学ぶ。妹・春子の産褥熱による死亡を契機に、助産師(産婆)活動の重要性を痛感した。明治14年、安生堂医院を開設し翌15年には安生堂産婆学校を設立し、産婆教育にも尽力した。明治18年(1885)には、東京産婆会第6支部長、本部幹事に就任し、大正11年(1922)まで活躍した。

### 【村松志保子助産師顕彰会とは】

明治・大正時代に女医から産婆になり、博愛精神に基づいた福祉活動や女性の地位向上に貢献した村松志保子の功績を顕彰し、その精神と志に根ざした活動を実践した助産師(産婆)を表彰し、その志を継承



会長: 広瀬綾子先生

副会長: 加藤尚美先生

副会長: 浜文子先生

村松志保子の活動が社会に認められ多くの記事になりました。また、助産師顕彰会の活動も新聞に度々紹介されています。



読賣新聞2005年1月13



読賣新聞2005年1月22



読賣新聞2005年3月9日

### 村松志保子の自立的・博愛的、近代助産師活動と助産師教育発祥の地に安産見守る記念碑建立

明治時代に女医から助産師になり、明治・大正時代に博愛精神に基づき、助産活動をした先駆的助産師村松志保子は、明治14年、墨田区横網に安生堂医院を開設、さらに女性の地位向上のため、明治15年、淑女館と安生堂産婆学校を設立し、新しい教養豊かな助産師が、この地で育成された。志保子の博愛は、貧富の分け隔てなく、当時の多くの母子を助け、その活動は大正12年9月1日の関東大震災まで続けられた。

ここに、志保子の崇高な精神と高い志に基づく活動を末永くたたえと共に、助産師自ら設立した助産師教育と博愛的助産師活動発祥の地、将来にわたり全世界のすべての母子と、その家族の健康と幸福を願い、さらに世界平和の実現への助産師の祈りの発信基地となることを記念して、墨田区横網の「ろうけん墨田秋光園」敷地内に建立する。

### 村松志保子顕彰会史表一覧

- 2005年 1月26日 村松志保子助産師顕彰会設立総会
- 2005年 1月15日 村松志保子碑見学
- 2005年 7月30日 隅田川の花火見学
- 2005年 3月 8日 村松志保子助産師の業績をたたえるプレート設置(除幕式)
- 2005年 4月 2日 第一回村松志保子賞等表彰式
- 2005年10月23日 村松志保子助産師顕彰会平成17年度秋のイベント
- 2005年11月29日 あおいくま推進グループイベント参加  
テーマ: 「墨田の誇る人、村松志保子の奉仕の精神を継承して」
- 2005年12月25日 老健慰問



助産学概論（助産学大系. 1）  
青木康子他：編. 第3版第4刷. (社)日本看護協会. 2006. 2



- 岡本喜代子顕彰会役員（おたふく助産院 院長）により助産の歴史に登場！
- 原島早智子顕彰会役員（墨田区前文化財調査委員）による文献提供



\*とても素敵な原島様です。  
村松志保子のことを研究され、眠っている志保子を目覚めさせて下さいました。  
みなさん、是非、お話を伺いましょう。



墨田区長様より

日本で最初の女医から助産師となり墨田区横網町で活躍した村松志保子の顕著な功績が明らかになりました。

墨田区では、「墨田やさしいまち宣言」～人と地域と環境のために～の理念や行動指針を2000年に示していますが、“助産師としての村松志保子の活躍には相通じるものがある”として、その功績が墨田区のやさしいまちづくりの先駆者として墨田区で高く評価されました。

\*志保子のゆかりのある沼田藩主のご子孫の方と墨田区の「村松志保子研究会」の坂田静子様や石原力先生たちと記念写真



←(研究会に参加して)



春のおすすめ散歩コース

墨田区の本所七不思議のひとつ

安田庭園にある椎の樹の根に抱かれ、志保子は

「落ち葉なしの椎」

松浦邸の大椎の樹は枝葉が広がっているがいつ見ても一片の

「山田屋の人形焼」

お薦めです！  
ちなみに包み紙は志保子由来の椎の樹

志保子ゆかりの地を訪ねてみませんか～

夏には、「ろうけん墨田秋光園」屋上からの隅田川の花火が圧巻でした！



♪志保子の応援歌ができました♪

一名も知らぬ花—  
歌手 高田京子

- 一、どうぞ どうぞ その草の  
茎を折り曲げないで  
風に 風にゆらして下さい  
名も知らぬ花 生命ふるわせ咲いている  
淋しさをこらえて生きる  
ほろほると 母の母のようです



- 二、どうぞ どうぞ その草を  
全部抜き去らないで  
少し 少し 残して下さい  
名も知らぬ花の涙粒色 白い花  
こうろぎが根っこで鳴くよ  
ほろほると 待っている母の声です

- 三、どうぞ どうぞ その草を  
強く踏みつけしないで  
そっと そっと 歩いて下さい

